

発行：農事組合法人 志方東営農組合 発行責任者 黒田 信行

## 今年一年を振り返って

代表理事 黒田 信行

平成三十年も残り少なくなりましたが、今年も天候不順と台風により農産物の収穫量及び品質に大きく影響しました。平成二十九年より検討し、今年に開催した臨時総会において承認された6次産業化の味噌加工施設及び販売計画（農林水産省承認及び補助金額決定）を諸般の事情により中止しましたが、この地域の農業関係の活性化のためにも今後新しい事業に前向きに取り組む時期にきています。

最近、十四支店において農産物の獣害が多く発生していますが、防護柵又は電気柵を設置されていますが、設置しただけでなくその後の対応が重要になります。

平成三十一年産水稻の作付面積は、需要が平成三十年産より九万トン以上減少すると新聞報道されていますが、兵庫県は平成三十年産作付面積と変わらな

いといわれています。今年「兵庫安心ブランド農産物」に緑肥のヘアリーベッチにより栽培した白大豆が関係者の皆様の努力により新しく認証されました。これで「志方健やか米」及び「そば」の三品目が認証されました。

今年一年、組合員の皆様にはいろいろとお世話になりました。来年もよろしくお願いたします。

### 黒田代表理事 30年秋の黄綬褒章受賞！

平成18年頃より、志方東地区の集落に存在していた14集落営農を一本化するために各地区の集落営農との地道な話し合いを進めながら、平成21年3月に農事組合法人志方東営農組合を立ち上げて発足させました。それ以降10年の長きに渡り志方東営農組合の代表理事として農業経営の改善と効率化・組織の活性化等に尽力され受賞に繋がったと思います。

## 事業報告（9月～12月）

- 9月** 加古川農業改良普及センター補助事業受託  
農地中間管理機構への協力依頼  
(加古川農林水産振興事務所 澁谷副所長来訪)  
大豆・そば栽培状況確認 市農林水産課・JA兵庫南  
理事会開催
- 10月** 「志方健やか米」現地確認 市農林水産課・JA兵庫南  
麦栽培講習会参加 JAかんき支店  
綿人ワークショップ開催 8支店参加  
小麦奨励品種ニシハルカ種子入荷  
理事会開催
- 11月** キャベツ・ブロッコリー現地確認 市農林水産課・JA兵庫南  
「志方健やか米」農薬分析用提出  
ブロック部会議開催 農機取得について  
収入保険制度についての説明を受ける 東播磨農業共済事務組合  
理事会開催
- 12月** 岡山県東備地域産地づくり協議会研修のため17名来訪  
高知県四万十市研修のため42名来訪  
集落営農組織連絡協議会研修会参加 市役所  
増田製粉所3名来訪  
「ベッチ米匠の会」匠育成研修会出席 JA兵庫南営農総合支援センター  
獣害対策研修会参加 県農林振興事務所主催 しろやま農業研修センター  
理事会開催



軽トラ市でのキャベツ販売



ワークショップ開催 <リースづくり>



四万十市から研修のため来訪

# 支店だより



## ★畑支店 藤原 義晴

今年シロガネコムギが赤カビによって収穫出来なかったのが残念です。水稲ですがはりまもちの悪かった事(3等)これは気候のせいであつたと思ひますが残念でした。しかし今年新トラクターを更新することができ安心して耕すことができ、皆が喜んで作業をしていました。来年は小麦及び水稲もできるだけの収穫が出来るように努力したいと思ひます。安全第一無事故で作業したいと思ひます。

## ★大沢北支店 黒田 信行

高齢化と後継者不足及び若年層の農業離れにより支店運営の人材不足による影響が出始めています。当支店の農業者は37名ですが、現在就農されていますのは9名ですがその全員が会社等に勤務されているため農産物の適期作業が出来なく、品質及び収穫量に影響がでる場合があります。全面積14ヘクタールの内、営農が管理している8ヘクタールに水稲、小麦、大豆を栽培しておりますが、今後の課題として人材確保と知識と技能の取得が重要になってくると思ひます。

## ★行常支店 藤本 章

小麦は赤カビ発生で全滅、水稲は異常気象(高温と日照不足)で収穫量減少と大変な年でした。しかし、新しいトラクター導入で作業効率も上がりました。天候に恵まれた小麦播種は順調に作業も進み、その後の生育も安定しています。来年は期待通りの結果が残せるように安全と効率の良い作業に努力します。

## ★東飯坂支店 黒田 豊

今年天候不順で小麦に赤カビが発生し、シロガネコムギ約5ヘクタールが全滅状態であつた。またトラクターの事故が発生するなど良くないことが続いた年であつたように思ひます。来年はこれまで以上に安全に留意し事故の無いように、より良い作物を作るように努力して参ります。

## ★大宗支店 高石 道雄

今年小麦播種時は雨が多く、排水溝の手直しに多くの手間をかけた。又、5、6月の赤カビ病の多発により何回も防除を実施しましたがシロガネコムギは収穫停止となり支店収益に大きく影響しました。今回初めて麦後圃場に大豆を栽培しました。収穫は少なかつたのですが、麦後対策として効果があつたため今後も作付面積を増やしていきたいと思ひます。当支店の耕作面積は、組合員の高齢化等の離農で年々増えてきていますが、作業者の高齢化が進み作業が難しくなっている現状です。

## ★細工所支店 宮永 宏

今年度の作付け計画は予定通り出来た。種子小麦(シロガネ)の作付けも3年目になり良品で目標数量以上達成出来、皆で頑張った甲斐があつた。しかし、一般小麦(シロガネ)は刈り取り時期に赤カビ病が発生した為減収減益となり残念な結果となり残念な結果となりました。また、猪の被害が発生し、被害防止対策として海苔網を設置した。この1年間農作業時における事故、災害等もなく無事終える事が出来安堵するとともに、作業者一人一人が「安全第一」に心掛けた賜物と感謝している。そして常に農道・水路等の草刈りに努めるとともに放棄田のないよう環境保全にも努めている。来年も組合員のご理解とご協力を得ながら和気あいあいと又、事故災害等もなく作業を行い皆で農地を守り、作付けに励んでいきたい。

## ★高畑支店 原 邦仁

平成30年を振り返って一番ショックな事はシロガネコムギの赤カビで収穫ゼロだつたことです。事前に防ぐ方法があれば言うことが無いのですが、「鹿児の華米」については収穫前に何回も来ましたがベタこけが無く収穫量は昨年より多かつた。雑草田はありましたが、一部の作業員で協力のもと、稗引きを行い補助金に支障はなかつた。全支店の問題点だと思ひますが、高畑は高齢による病人が増えたため、その人の田の管理者を決めたいが、中々難しい状況が続いております。志方東営農組合は現状、各支店の圃場で各支店の作物を各支店の作業員により行つていきます。トラクター等の機械が当然必要になってきます。圃場をまとめることは全くできないことと考へております。作業の時期をずらす方法があれば多少は改善できるものと思ひます。

## ★広尾西支店 大村 勝信

本年は小麦に赤カビが大発生し、ほぼ全滅したことが残念でなりません。悪天候が一番の原因と思ひますが、それ以外にも排水の良否、防除の時期等、反省する事も多いです。ジャンボタニシは、ほとんどの圃場で見られるようになってしまいましたが、水管理である程度は減らすことができました。又、秋ソバが今年には全く収穫できませんでした。来年は圃場並びに播種時期を皆で検討しながら採算の合うように作りたいと思ひます。又、軽量で単価の上がるジャンボニンニクの栽培にも力を入れていきます。

## ★野尻支店 玉田 和俊

平成30年は、小麦が赤カビ発生により収穫が出来ず、当初は支店全員で今年例年になく良く出来たと話していたが全くダメとなりショックが大きかつたのと、鳥獣被害が昨年以上に拡大し、特に猪による被害が大きくなり今後を心配する年でした。来年は組合員の高齢化の中、全員が安全第一、健康第一で農作業を進め、良質な農作物が収穫出来る

ことを願ひ、又、鳥獣被害対策を少しずつではあるが進めていきたいと思ひます。

## ★中才支店 前田 一夫

シロガネコムギの作付けを行ったが、5月6月の天候不順により、殺菌剤を3回散布したが、赤カビが発生し、出荷不能となりました。そのため材料費及び労務費の回収が出来なかつた。来年については、シロガネコムギとゆめちからの作付けを行った。気候変動を常に把握し、赤カビ病を無くし、10アールあたり350キロ以上収穫できるように、対処していきたい。

## ★東中支店 藤井 敏

今年フレールモア導入により、圃場の草刈労力低減の実施及び管理料、使用料、委託料を設定し会員が利用しやすくなりました。今後の課題は、圃場の管理を業者に依頼する農家が增大しています。当集落では稲作は個人別であり、営農が引き受けるには機械がそろっていないのが現状であり、改善するには金銭面の問題があります。又、保有トラクターのワンタッチ化を計画し推進中です。

## ★広尾東支店 丸山 良作

当支店は毎年、小麦の除草作業から始まり、小麦への追肥→キャベツ収穫→小麦収穫→田植え→大豆播種→キャベツ苗定植→稲刈り→キャベツ収穫開始→小麦播種→大豆収穫と一年を通じて農作業に取り組んでいきます。この作業を通じて、ある程度集落にも貢献し、又、管理農地を荒らすこともなく維持してきた事を自負して来ましたが、しかし作業従事者がいつの間にか高齢化している事に今更ながら驚いています。そろそろ世代交代の時期が来ているのかと考えますが、なかなか次の担い手となる者が育っていない。これが現状です。今後は女性の方の参画も考慮した農業も考へて行かなければと思ひます。将来を考えると少々不安になりますが、今やるべき事を精一杯やる事できつと近い将来展望が開けてくる事を願ひながら。